

国際人権規約完全実施促進連絡会議 主催

2023 年度 総会特別講演会（公開）

「ネオリベラリズム から 99%のための フェミニズムへ」



99%の私たちの
ための社会を！

日 時：2023 年 6 月 16 日(金)15:00～16:30

講 師： **菊地 夏野 さん**（名古屋市立大学准教授）

会 場：衆議院第二議員会館 第 2 会議室（オンライン参加も可）

参加費：無料 ※通行証は 14:45 より会館入り口にてお渡しします

『1%の富裕層ではなく、「99%の私たち」のために、性差別・人種主義・環境破壊のない社会を』と主張するナンシー・フレイザー他 2 名の共著「99%のためのフェミニズム宣言」を解説し日本に紹介した菊地夏野さんは、『日本のポストフェミニズム～「女子力」とネオリベラリズム～』他などを著し、混沌としたフェミニズムの解釈を整理しながらネオリベラリズム（新自由主義）下における女性への抑圧のありようを明らかにしました。また編著「クィア・スタディーズをひらく」では、性科学に基づく性別の分類を考え直そうと試みました。行動する研究者として明確な発信を続けておられます。

女性の社会進出が進んだと語られる一方で、新自由主義経済の下で女性の貧困や女々格差が進みました。フェミニズムとネオリベラリズムはどのような関係にあるのでしょうか？ ネオリベラリズムが、ジェンダーやセクシュアリティに関してどのような意味を持っているかを明らかにし、フェミニズムに「現実に直面する中から可能性を見いだす」方向性を追求すべく、皆さまと共に考えます。

講師プロフィール：

1973 年、宮城県生まれ。名古屋市立大学人間文化研究科教員。専攻は社会学、ジェンダー／セクシュアリティ研究。マイノリティ女性と共に生きるためのフェミニズム理論の構想を目指す。主著に『ポストコロニアリズムとジェンダー』（青弓社）、『日本のポストフェミニズム～「女子力」とネオリベラリズム～』（大月書店）。編著に『クィア・スタディーズをひらく』。

申し込み方法： 締切 2023 年 6 月 14 日（水）正午まで（締め切り日以降及び当日の受付は

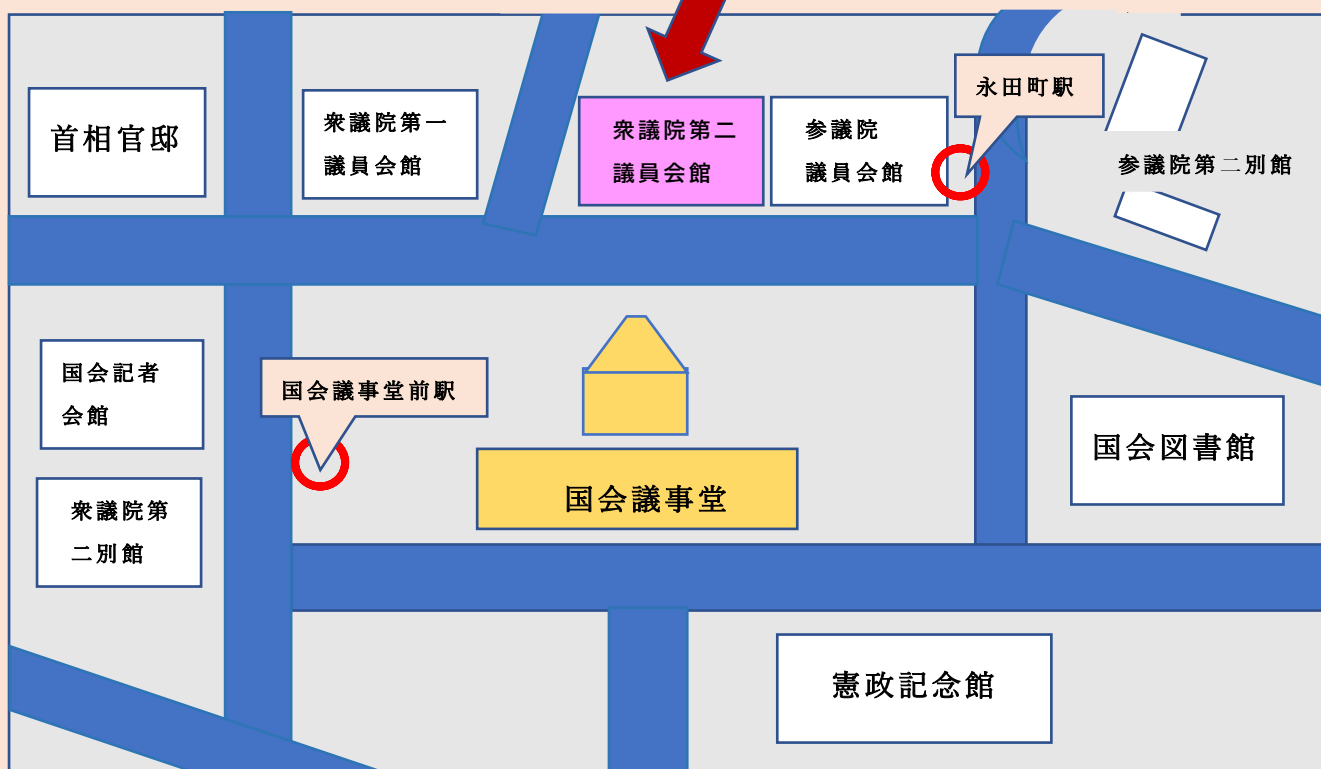
・ Google フォームから：<https://forms.gle/uRkPZX5REcVArEvE6> **お受けできません**

・ E-mail から：氏名・所属・メールアドレス・対面またはオンライン参加の有無を明記し、

kokusaijinken2023@gmail.com まで

会場へのアクセス→裏面 参照

会場：衆議院第二議員会館 案内図



衆議院第二議員会館：地下鉄 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」1番出口

地下鉄 丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」1番出口

◆「国際人権規約完全実施促進連絡会議」とは：

国際人権規約完全実施促進連絡会議は、1966年に国連で採択された「経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約—社会権規約(A規約)」、「市民的及び政治的権利に関する国際規約—自由権規約(B規約)」と「B規約の第一選択議定書」(1989年には第二選択議定書が採択された)を日本が批准することを求め、世界人権宣言25周年を記念して1973年に結成された団体です。

日本政府は1979年に両規約を批准しましたが、いくつかの留保を付すなど、十分なものではありませんでした。以来、当連絡会議は国連憲章に規定された「平和」「人権尊重」の理念のもとに、国際人権関係諸条約と、それに付随する選択議定書等の批准および完全実施を求めて活動し、毎年、関係省庁担当者に面会し、要望書の提出を続けてまいりました。その間、いくつかの条約・議定書の批准がなされましたが、まだ未批准あるいは留保付きのものが残っています。条約が日本でも完全に実施されることを目指して関係各方面に働きかけています。

現在、以下の9団体が参加。本年で50周年を迎えます。

- ・国連 NGO 国内女性委員会 ・(一社) 大学女性協会 ・婦人国際平和自由連盟日本支部 ・日本汎太平洋東南アジア婦人協会 ・(公社) 自由人権協会
- ・日本カトリック正義と平和協議会 ・女性参政権を活かす会 ・(公財) 日本YWCA ・日本キリスト教協議会

2023年6月現在